

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公表番号】特表2000-514057(P2000-514057A)

【公表日】平成12年10月24日(2000.10.24)

【出願番号】特願平10-504146

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 405/14

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 31/10

【F I】

C 0 7 D 405/14

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月15日(2004.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書



平成16年6月15日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第504146号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 ニュージャージー 07033, ケニルワース,

ギャロッピング ヒル ロード 2000

名称 シェーリング コーポレイション

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号

クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話(大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

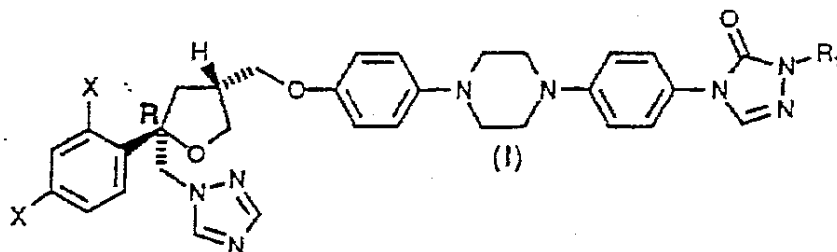
請求の範囲を別紙のとおり補正します。



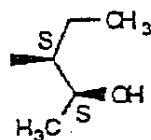
請求の範囲

1. 実質的にアモルファスの固溶体を含有する薬学的組成物であって、該固溶体が以下を含む、組成物：

(a) 以下の式 I の化合物あるいは式 I の化合物のエステルまたはエーテル：



ここで：Xは独立してFであり；そしてR₁は



である；および

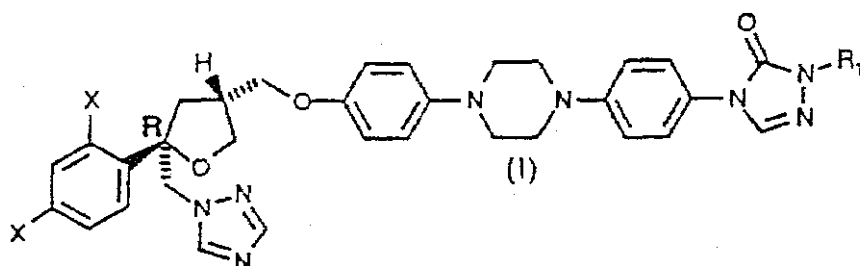
(b) ポビドン、クロスポビドン、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ポリエチレンオキシド、ゼラチン、カーボマー、カルボキシメチルセルロース、クロスカルメロース、メチルセルロース、メタクリル酸コポリマー、メタクリレートコポリマー、ならびにメタクリル酸およびメタクリレートコポリマーの水溶性塩、セルロースアセテートフタレート、ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレートおよびプロピレングリコールアルギネートからなる群から選択されるポリマー；

ここで、該化合物対該ポリマーの比は約1：3～約1：6である。

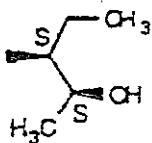
2. 組成物の重量に基づいて合計wt%が100%であるように、以下を含有する組成物：

(A) 約62.5wt%の実質的にアモルファスの固溶体であって、以下を含有する固溶体：

(a) 以下の式 I の化合物あるいはその薬学的に受容可能な塩:



ここで各 X は F であり、 R_1 は



である；および

- (b) ポビドン；ここで該化合物対該ポビドンの比は約 1 : 4 である；
(B) 約 25.5wt% の崩壊剤であるクロスポビドン；
(C) 約 6.25wt% の崩壊剤であるクロスカルメロースナトリウム；
(D) 約 0.625wt% の潤滑剤であるステアリン酸マグネシウム；
(E) 約 3.125wt% の界面活性剤である Pluronic F-68；および
(F) 約 2wt% の滑剤である二酸化珪素。